

令和5年度 府中市立府中第六小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の目的意識・相手意識を明確にするのが難しい。 ・説明文や意見文の構成を捉えて文章を読み取るのが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入を工夫して児童の意欲が高まる雰囲気を作る。学習計画を児童が作れるよう指導し、主体的に取り組めるようにする。 ・要旨を読み取ってまとめられるよう、見本を示しながら指導する。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・問題に対する自分の考えを周りに説明することに苦手意識がある。 ・文章問題の意味を理解できず、立式に迷ってしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに図や言葉、式を組み合わせる考えを書くように指導する。自分の考えを説明する場面を多く設定する。 ・全員が立式できるように、問題を全員で確認する時間を設けたり、問題場面を図に表す時間を確保したりする。 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや予想がどのような根拠に基づいているのかを意識し、論理的に考えることが難しい。 ・実験の意味を考え、一般化する思考の流れが難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えや予想をする時に根拠がどこにあるのか問い返したり記入させたりして、定着できるように指導していく。 ・実験をする際になぜその実験をするのかを確認し、目的をもって実験ができるようにする。 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・学習問題を意識して単元を学習していくことが難しい様子が見られる。 ・資料から必要な事柄を正確に読み取ることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい資料を使い、単元の始めに学習問題の設定をする。掲示する、ノートを振り返るなどして学習問題を常に意識できるように工夫する。 ・どこに着目するか、大切なことは何かなど資料の読み取り方を丁寧に指導していくことで、徐々に自力で読み取る力を付けていく。 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱では、元気な声で、友達と重ねて歌うことができているが、発声の仕方に気を付けて、きれいなハーモニーをつくるのが苦手である。 ・旋律を正しく演奏することに精一杯で、豊かに表現することが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「和音の響きを感じる」学習では、音色をそろえるときれいなハーモニーができることを感じられる場面を設定する。 ・自分たちの演奏を客観的に振り返ることができるよう録音したものを聴く場面を設定する。 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の中から、表現に適した方法を選択したり組み合わせたりすることが課題である。 ・作品の紹介や鑑賞をするとき、自分の考えを言葉で表すことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画を見直して、単元に合った既習事項を生かして活動できるようなカリキュラムを設定する。自分の思いや考えを豊かに表現する方法を考えていけるよう工夫する。 ・何について考えればいいのか、形や色などの視点を示し、また、見たことと考えたことを関連付けて考えられるように指導する。 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科という授業が初めてなので、興味をもって取り組もうとする意欲がある。しかし、実生活に結び付けることができない児童もいる。 ・実生活での経験の少ない児童と経験している児童の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの学習が、実生活にどのように結び付いているかを実感させるようにするために、学習したことを家庭で実践させる。 ・個別に対応し、できている児童が教えることで互いの技術の向上を目指したりしていく。 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が得意な児童と苦手な児童の意欲の二極化が見られる。 ・思考や話し合いの時間と運動量の確保のバランスのとり方が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階や運動経験に応じ、場やルールを簡易化したり変更したりする。 ・単元計画を吟味し、毎時間の場や教具を工夫して、短時間で分かりやすい説明をする。 ・毎時間の授業の流れ、チーム編成等を工夫し、運動量を確保する。 		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でコミュニケーションを行うことには慣れ親しんでいるが、これまで既習したことを活かして、即興で伝える力が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入で Small Talk の活動を設定し、既習の表現を使ってコミュニケーションをする機会を増やす。 ・既習の語彙や表現をいつでも思い出して使えるように教室掲示をし、スパイラル的に復習する。 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。